

世界史

I 中国の古代文明について述べた次の文章を読んで以下の設問に答えよ。

(解答欄 ～)

中国では前5千年紀に黄河・長江流域に^(a)新石器文化が生まれ、前2千年紀には城郭都市である邑が形成された。その後、黄河中流域では政治権力の集中が進み、前16世紀頃、それらを統合する殷王朝が成立した。やがて^(b)殷に服属していた周が台頭し、前11世紀に殷を滅ぼし、鎬京に都を置いて華北を支配した。^(c)前8世紀に周は都を移すことになったが、これ以降、周王の権威は衰え、有力諸侯が抗争を繰り広げる^(d)春秋・戦国時代に入った。特に戦国時代には戦国の七雄と呼ばれる有力諸侯が公然と王を称し、富国強兵策を実施しながら自国の領土拡大に努めた。各国の内部では、実力主義に基づく積極的な人材登用が行われたため、^(e)諸子百家と呼ばれる多くの思想家たちが登場した。

戦国の七雄の中で最も西方に位置していた秦は、前221年に中国最初の統一国家を樹立した。^(f)秦の始皇帝は中央集権的な政策を推進したが、その改革が急激であったため、民衆の反感を招き、秦は統一後、わずか15年で滅亡した。秦末の混乱の中で、農民出身の^(g)劉邦が台頭し、再び中国を統一した。これが漢(前漢)王朝である。その後、前2世紀後半の第7代武帝の時代が前漢の全盛期で、この時代に司馬遷が^(h)『史記』を著した。この後、外戚の(i)が建国した新の時代を経て、25年に漢を再興したのが^(j)後漢の光武帝(劉秀)である。後漢は一時、強勢を誇ったが、豪族による大土地所有の進展は王朝の財政を破綻させ、外戚と宦官の対立による政治的混乱が続いた。そうした中で、^(k)184年に華北で農民反乱が起き、220年に後漢は滅び、^(l)魏晋南北朝と呼ばれる分裂の時代に突入した。

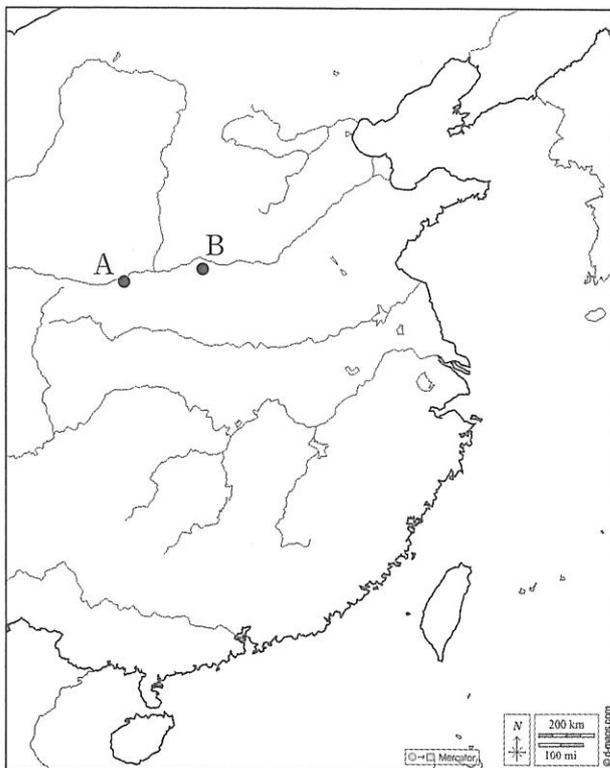
問1 下線(a)に関連して、黄河や長江流域に誕生した新石器文化について述べた文として誤りを含むものを次の①～④より一つ選べ。 ア

- ① 仰韶文化では、赤褐色の地に紅・黒・白などの顔料で幾何学紋様を描いた彩文土器(彩陶)が用いられた。
- ② 竜山文化の時代には、ろくろを使い高温で焼いた黒陶が用いられた。
- ③ 長江下流域には、水稻耕作を中心とする新石器文化が存在した。
- ④ 黄河流域では、牛を使って田を耕す牛耕法が普及していた。

問2 下線(b)に関連して、殷・周について述べた文として誤りを含むものを次の①～④より一つ選べ。 イ

- ① 殷代にはすでに青銅貨幣が使用されていた。
- ② 殷王は亀甲や獣骨を用いて神意を占い、国事を決定するといった祭政一致の神権政治を行った。
- ③ 周では、一族・功臣などを諸侯として封土を与え、貢納や従軍の義務を負わせる統治体制をとっていた。
- ④ 周代には宗族間の規範や祖先の祭祀を定めた宗法によって氏族の結びつきが維持されていた。

問3 下線(c)に関連して、周の新たな都の名称と地図上の位置の組み合わせとして正しいものを次の①～④より一つ選べ ウ



	都市名	地図上の記号
①	洛邑	A
②	洛邑	B
③	長安	A
④	長安	B

問4 下線(d)について述べた文として正しいものを次の①～④より一つ選べ。 工

- ① 鉄製農具の普及により，農業生産力が高まった。
- ② 仏教や道教などの宗教が伝わり多くの信者が存在していた。
- ③ 文字を記すために紙が使用されていた。
- ④ 戦乱を避け，哲学論議を交わす清談が流行した。

問5 下線(e)に関連して，思想家とその学派の組み合わせとして正しいものを次の①～④より一つ選べ。 才

- ① 孔子—法家 ② 韓非—儒家 ③ 孟子—墨家 ④ 老子—道家

問6 下線(f)に関連して，始皇帝が実施した政策について述べた文として誤りを含むものを次の①～④より一つ選べ。 力

- ① 言論・思想の統制をはかり，焚書・坑儒を行った。
- ② 貨幣・度量衡や文字の統一をはかった。
- ③ 諸侯権力の削減をはかり，それに抵抗する呉楚七国の乱を平定した。
- ④ 郡県制を全国に実施して，直接，中央から官吏を派遣した。

問7 下線(g)に関連して，劉邦が実施した政策について述べた文として正しいものを次の①～④より一つ選べ。 キ

- ① 中央は郡県制，地方は封建制で支配する郡国制を実施した。
- ② 江南と華北を結ぶ大運河を完成させた。
- ③ 農民に均等に給田する均田制を創始した。
- ④ 董仲舒の提案を受け入れ，儒学を官学とした。

問8 下線(h)に関連して、下の史料は『史記』の一文である。これを読んで、当時の経済状況や財政政策について述べたA・Bの文の正誤の組み合わせとして正しいものを次の①～④より一つ選べ。

その明年(元狩4年、前119)、大將軍(衛青)と驃騎(霍去病)とが、大軍を率いて胡(匈奴)に出撃し、敵の首級と捕虜8,9万を得たが、その賞賜金は、50万金にのぼった。それには、漢軍の死んだ馬10余万匹や輸送費・兵車・兵甲の費はふくまれていない。しかも、当時、すでに財政は欠乏し、戦士はほとんど禄を得ていなかった。そこで有司(役人)は、「三銖錢が軽いため、不正をしやすい。」といい、「諸郡国で、五銖錢を鑄造させ、錢に輪郭をつけ、削って銅屑を取ることができないようにしたい。」と奏請した。

(石橋秀雄 訳 『新訳 世界史史料・名言集』 山川出版社)

- A 武帝の時代における匈奴征討をはじめとする外征が漢の財政を困窮させた。
B 税収の安定を図るため、諸郡国で五銖錢を鑄造させたが、最終的には中央官庁鑄造の半兩錢が全国統一貨幣となった。

- ① A — 正 B — 正 ② A — 正 B — 誤
③ A — 誤 B — 正 ④ A — 誤 B — 誤

問9 (i)に適する人名を次の①～④より一つ選べ。

- ① 項羽 ② 王莽 ③ 司馬炎 ④ 曹丕

問10 下線(i)に関連して、後漢時代の対外政策について述べた文として正しいものを次の①～④より一つ選べ。

- ① 張騫を大月氏に派遣した。
② 衛氏朝鮮を滅ぼし、朝鮮4郡を設置した。
③ 匈奴討伐で活躍した班超を西域都護に就任させた。
④ 辺境防備の総司令官として節度使を置いた。

問11 下線(k)について述べた文として正しいものを次の①～④より一つ選べ。 サ

- ① 塩の密売商人であった黄巢が指導した。
- ② 陳勝・呉広らが挙兵して起こした。
- ③ 太平道という宗教結社の教祖である張角が指導した。
- ④ 農民たちは眉を赤く染めて目印とした。

問12 下線(l)に関連して、魏晋南北朝の時代の出来事について述べた文として波線部分が誤っているものを次の①～④より一つ選べ。 シ

- ① 魏の時代に官吏任用の制度として科挙が創始された。
- ② 東晋の法顕は仏典を求めてインドに渡り、帰国後、『仏国記』を著した。
- ③ 北魏の孝文帝は、平城から洛陽に遷都し鮮卑の服装や言語を禁止するなどの漢化政策を打ち出した。
- ④ 南朝の梁の昭明太子が『文選』を編纂した。

Ⅱ イベリア半島の歴史について述べた次の文章を読んで以下の設問に答えよ。

(解答記号 ～)

イベリア半島はヨーロッパ大陸の南西端に位置し、ピレネー山脈によって他の地域と区切られた地域にある。イベリア半島北部には旧石器時代にクロマニヨン人が狩猟の成功を祈願して描いたとされる^(a) 洞穴絵画が残されている。

前1000年頃に、地中海世界に進出した^(b) フェニキア人が青銅器文明をイベリア半島に伝え、前6世紀頃にはギリシア人が進出し各地に植民市を建設した。前3世紀にローマ人がイベリア半島を征服し、半島全土はヒスパニアと呼ばれた。4世紀後半、ゲルマン人の一派が^(c) ローマ帝国領内への侵入を開始し、ゲルマン人は部族ごとに分かれて各地に国家を建設したが、イベリア半島にも、(d)王国が建国された。

711年、(d)王国はイスラーム王朝のウマイヤ朝に滅ぼされ、イベリア半島はその支配下に入った。ウマイヤ朝は、その後、フランク王国への侵入を試みたが、^(e) 732年、フランク王国の宮宰カール＝マルテルによって撃退され、イベリア半島に留まった。750年、^(f) アッバース朝が成立し、ウマイヤ朝が滅亡すると、その子孫はイベリア半島に逃れ、^(g) 後ウマイヤ朝を建国した。

その後、イベリア半島北部にはキリスト教国が建国され、イスラーム勢力を一掃するレコンキスタ(国土回復運動)が進められていった。その中からカスティリヤ王国、アラゴン王国、ポルトガル王国が有力となった。カスティリヤ王国の王女イサベルとアラゴン王国の王子フェルナンドが結婚して、1479年、スペイン王国が誕生し、レコンキスタに拍車がかかり、1492年にはイベリア半島最後のイスラーム王朝であった(h)を滅ぼし、イベリア半島からイスラーム王朝を完全に駆逐した。この後、⁽ⁱ⁾ ポルトガルやスペインによって大航海時代の幕が開き、このうち、スペインはアメリカ大陸の経営を進めるが、その頃、^(j) アメリカには先住民による高度な文明が存在していた。

イサベルとフェルナンドの娘であるフアナはハプスブルク家のフィリップと結婚したが、二人の子でスペイン王となったカルロス1世は、1519年、カール5世として^(k) 神聖ローマ帝国の皇帝にも選出され、広大な地域を支配することとなった。しかし、相次ぐ戦争などで、スペインの国家財政は常に苦しかった。1556年にカルロス1世(カール5世)が退位すると、ハプスブルク家はスペイン系とオーストリア系に分かれ、スペインは彼の子である^(l) フェリペ2世のもとで「太陽の沈まぬ国」を実現した。

問1 下線(a)に関連して、洞穴絵画が残るスペイン北部の遺跡の名称として正しいものを次の①～④より一つ選べ。 ス

- ① ラスコー ② アルタミラ ③ ハラッパー ④ ウル

問2 下線(b)について述べた文として正しいものを次の①～④より一つ選べ。 セ

- ① シリアのダマスカスを中心に内陸貿易で活躍した。
② 霊魂不滅を信じ、ミイラをつくり『死者の書』を残した。
③ 復讐法に基づくハンムラビ法典を編纂した。
④ シドン・ティルスなどの都市国家を中心に海上貿易で活躍した。

問3 下線(c)に関連して、ローマ帝国の皇帝について述べた文として誤りを含むものを次の①～④より一つ選べ。 ソ

- ① マルクス＝アウレリウス＝アントニヌス帝は哲人皇帝と呼ばれ、『自省録』を著した。
② デイオクレティアヌス帝はミラノ勅令によりキリスト教を公認した。
③ コンスタンティヌス帝はキリスト教の教義統一のためにニケーア公会議を開催した。
④ テオドシウス帝はキリスト教を国教とした。

問4 (d)に適する語を次の①～④より一つ選べ。 タ

- ① ヴァンダル ② 西ゴート ③ 東ゴート ④ ランゴバルド

問5 下線(e)に関連して、この戦いの名称として正しいものを次の①～④より一つ選べ。

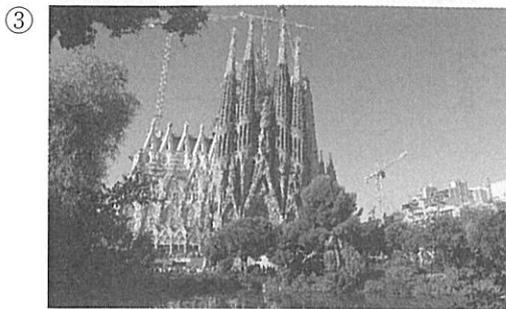
チ

- ① タラス河畔の戦い ② ニハーヴァンドの戦い
③ トゥール・ポワティエ間の戦い ④ カタラウヌムの戦い

問6 下線(f)について述べた文として正しいものを次の①～④より一つ選べ。 ツ

- ① ハールーン＝アッラシードの治世に最盛期を迎えた。
② サラーフ＝アッディーン(サラディン)の治世に十字軍を撃退した。
③ ムアーウィヤの治世に新首都バグダードを建設した。
④ イクター制と呼ばれる軍事封土制を創始した。

問7 下線(g)に関連して、後ウマイヤ朝の首都コルドバにある建造物として適当なものを次の①～④より一つ選べ。



問8 (h) に適する語を次の①～④より一つ選べ

- ① ナスル朝 ② ムラービト朝 ③ サーマーン朝 ④ ガズナ朝

問9 下線(i)に関連して、大航海時代に活躍した航海者について述べた文として正しいものを次の①～④より一つ選べ。

- ① エンリケ航海王子はカリカットに到達し、インド航路を開拓した。
② カブラルはパナマ地峡を横断して太平洋に到達した。
③ マゼランはインドに向かう途中ブラジルに漂着した。
④ バルトロメウ＝ディアスはアフリカ南端の喜望峰に到達した。

問10 下線(j)に関連して、北米大陸のメキシコ高原・ユカタン半島一帯に存在した古代文明について述べた文として誤りを含むものを次の①～④より一つ選べ。

- ① アステカ文明では、生け贄の儀式があった。
② マヤ文明では、石造のピラミッドなどが造られた。
③ トウモロコシなどの栽培を中心とする農耕文化が発展した。
④ メキシコ高原ではインカ帝国が繁栄した。

問11 下線(k)に関連して、神聖ローマ帝国の皇帝について述べたA～Cの文が年代の古い順から正しく配列されているものを次の①～⑥より一つ選べ。

A 神聖ローマ皇帝ジギスムントはコンスタンツ公会議を開催し、ローマの教皇を正統と認めて教会大分裂を終わらせた。

B 神聖ローマ皇帝カール4世は「金印勅書」を發布し、皇帝選出権を聖俗の七選帝侯に認めた。

C ドイツ国王(のち神聖ローマ皇帝)ハインリヒ4世はローマ教皇グレゴリウス7世と聖職叙任権問題で争い、イタリアのカノッサで教皇に謝罪した。

- ① A → B → C ② A → C → B ③ B → A → C
④ B → C → A ⑤ C → A → B ⑥ C → B → A

問12 下線(l)について述べた文として誤りを含むものを次の①～④より一つ選べ。

- ① ポルトガルの王位を継承した。
② ネーデルラントのカトリック教徒を弾圧した。
③ レパントの海戦でオスマン帝国の海軍を破った。
④ アルマダ海戦でイギリスのエリザベス1世に敗れた。

Ⅲ 19世紀前半のヨーロッパについて述べた次の文章を読んで以下の設問に答えよ。

(解答記号 ~)

(a) フランス革命と(b) ナポレオン戦争を経て広がったナショナリズム・自由主義の動きを抑えるために、1814年、ウィーン会議が開催された。各国の利害が衝突して会議は難航したが、翌年(c) ウィーン議定書が締結された。その結果、ウィーン体制と呼ばれる保守・反動的な国際秩序が確立し、それに反発して(d) 各地でナショナリズム・自由主義の運動が起きたが弾圧された。

しかし、(e) ラテンアメリカの各植民地で1810年代から1820年代にかけて起った独立運動や、1821年から開始された(f)の独立戦争に際しては反動体制を維持してきた国の中にもこれらの独立の動きを支持する国が現れ、列強の足並みが揃わなくなった。

ウィーン体制下のフランスでは、復活したブルボン王朝の国王が反動的な政治を行ったため、1830年7月、パリで(g) 七月革命が起り、七月王政が成立した。一方、(h) 自由主義的な性格を強めていたイギリスでは、19世紀にさまざまな改革を実現していった。また、(i) 産業革命の進展にともない(j)労働者の待遇改善に努力した工場主も現れた。

1848年、フランスで(k) 二月革命が起り、共和政の臨時政府が樹立された。二月革命は各地の民族運動にも大きな影響を与え、(l) この年のナショナリズムの運動は「諸国民の春」と呼ばれた。

問1 下線(a)に関連して述べたA～Cの文が年代の古い順から正しく配列されているものを次の①～⑥より一つ選べ。

- A ヴァレンヌ逃亡事件の結果、国王ルイ16世は国民の信頼を失った。
- B ラ＝ファイエットらによって人権宣言が起草された。
- C ロベスピエールらによって恐怖政治が行われた。

- ① A → B → C ② A → C → B ③ B → A → C
- ④ B → C → A ⑤ C → A → B ⑥ C → B → A

問2 下線(b)に関連して、ナポレオンについて述べたA～Cの文が年代の古い順から正しく配列されているものを次の①～⑥より一つ選べ。

- A イギリス海軍にトラファルガーの海戦で敗れた。
- B 大陸封鎖令を無視したロシアに遠征した。
- C 国民の圧倒的な支持を受け皇帝に即位し、ナポレオン1世と称した。

- ① A → B → C ② A → C → B ③ B → A → C
- ④ B → C → A ⑤ C → A → B ⑥ C → B → A

問3 下線(c)に関連して、ウィーン会議やウィーン議定書について述べた文として誤りを含むものを次の①～④より一つ選べ。

- ① フランス外相タレーランはフランス革命前の王朝と領土を正統とする正統主義を唱えた。
- ② ロシア皇帝はポーランド王を兼ね、ポーランドを支配した。
- ③ ドイツにはオーストリア・プロイセンなどの君主国とハンブルクなどの自由市から構成されるドイツ連邦が成立した。
- ④ ロシアの提唱で、キリスト教的友愛の精神に基づく四国同盟が結成された。

問4 下線(d)に関連して、1815年から1848年までのウィーン体制期にロシアで起こった出来事について述べた文として正しいものを次の①～④より一つ選べ。

- ① コサックのプガチョフが指導する反乱が起こった。
- ② 皇帝アレクサンドル2世により農奴解放令が発布された。
- ③ 青年将校がデカブリストの乱を起こした。
- ④ ペテルブルクで血の日曜日事件が起きた。

問5 下線(e)に関連して、ラテンアメリカの独立について述べた文として正しいものを次の

①～④より一つ選べ。

- ① 植民地生まれの白人であるクリオーリョが独立運動を指導した。
- ② メキシコはポルトガルから独立した。
- ③ シモン＝ボリバルはアルゼンチンの独立運動を指導した。
- ④ アメリカ合衆国大統領のジェファソンはアメリカ大陸とヨーロッパの相互不干渉を唱えた。

問6 (f)に適する語を次の①～④より一つ選べ。

- ① ハンガリー
- ② ギリシア
- ③ ポーランド
- ④ サルデーニャ

問7 下線(g)に関連して、七月革命を題材にしたとされる、右下の絵画を制作したフランスのロマン主義の画家は誰か。次の①～④より一つ選べ。

- ① ドラクロワ
- ② ゴーガン
- ③ ダヴィド
- ④ セザンヌ



問8 下線(h)に関連して、この時期のイギリスの諸改革について述べた文として正しいものを次の①～④より一つ選べ。

- ① アイルランドのオコンネルらの努力によりカトリック教徒解放法が廃止された。
- ② 第1回選挙法改正が実現し、都市労働者に参政権が与えられた。
- ③ コブデンやブライトラが反穀物法同盟を結成して活動を行った結果、穀物法が廃止された。
- ④ 航海法が成立し、自由貿易体制が確立された。

問9 下線(i)に関連して、イギリスで産業革命が起こった背景について述べた文として誤りを含むものを次の①～④より一つ選べ。

- ① 石炭や鉄などの資源が豊富であった。
- ② フランス・スペイン・オランダとの植民地獲得戦争に勝利し、北アメリカやアジアなどに広大な海外市場を獲得していた。
- ③ 第2次囲い込みによって土地を失った農民が都市の工業労働者となり、豊富な労働力があつた。
- ④ インドから輸入していた毛織物に対する需要が高まっていた。

問10 下線(i)に関連して、労働者の待遇改善に尽力し、工場法の制定にも貢献したイギリス人の工場主は誰か。次の①～④より一つ選べ。

- ① オーウェン
- ② サン＝シモン
- ③ フーリエ
- ④ ルイ＝ブラン

問11 下線(k)について述べた文として誤りを含むものを次の①～④より一つ選べ。

- ① 二月革命は中小資本家や労働者による選挙権拡大運動を政府が弾圧しようとしたことに起因する。
- ② 革命の結果、国王シャルル10世はイギリスに亡命した。
- ③ 革命後に成立した臨時政府には、社会主義者の代表も加わった。
- ④ 革命後の共和政下で行われた大統領選挙では、ナポレオン1世の甥のルイ＝ナポレオンが大統領に当選した。

問12 下線(l)に関連して、二月革命の影響を受けてヨーロッパ各地で起こった出来事について述べた文として誤りを含むものを次の①～④より一つ選べ。

- ① イタリアではローマ共和国が市民の蜂起で樹立され、マッツイーニも招かれたが、フランスの軍事介入で倒された。
- ② ベルギーがオランダから独立して立憲王国となった。
- ③ ドイツではフランクフルト国民議会が開催された。
- ④ オーストリアではウィーン三月革命が起き、メッテルニヒが失脚した。

IV ヨーロッパ諸国の進出に対するアジア・アフリカの民族運動について述べた次の文章を読んで以下の設問に答えよ。(解答記号 ユ ~ ガ)

オスマン帝国は、16世紀半ばにはアジア・ヨーロッパ・アフリカへと領土を拡大したが、第2次ウィーン包囲の失敗は領土の拡大から縮小に転じる契機となり、1699年に結ばれた(a)によりハンガリー・トランシルヴァニアなどをオーストリアに割譲した。(b)19世紀になると、支配下の諸民族がオスマン帝国からの自立を求める運動を起し、ヨーロッパ列強も積極的に干渉した。その結果、帝国の領土は縮小の一途をたどったため、オスマン帝国では、アブデュルメジト1世が司法・行政・財政・軍事による大規模な西欧化改革(タンジマート)を行った。さらに、1876年には宰相の(c)がアジア最初の憲法を制定したが、ロシア=トルコ戦争が勃発すると憲法は停止された。

アフリカ大陸はヨーロッパ人にとって未知の世界であったが、19世紀半ば以降、リヴィングストンやスタンリーによるアフリカ大陸内部の探検が進み、その状況が徐々に明らかになり、やがて、(d)ヨーロッパ諸国が進出し、分割支配されるようになった。

(e)ムガル帝国が支配していたインドでは、(f)18世紀後半以降、イギリスが植民地化を進めた。イギリスの支配に対する不満が高まるなか、(g)1857年にシパーヒー(インド人傭兵)が反乱を起したが、イギリス側の攻撃で鎮圧され、ムガル帝国は完全に滅亡した。こうしたイギリスのインド支配に対して、20世紀になると(h)ガンディーが独立運動を展開し、第二次世界大戦後の1947年にインドは独立を達成した。

東南アジア地域には、16世紀以降、ヨーロッパ諸国が香辛料を求めて進出した。そして(i)19世紀前半以降、オランダ・スペイン・イギリス・フランスなどによる植民地分割が進んだ。これに対する(j)抵抗運動も各地で起きたが、そのほとんどは列強によって弾圧された。

問1 (a)に適する条約名を次の①～④より一つ選べ。 ユ

- ① カルロヴィッツ条約 ② トルコマンチャーイ条約
- ③ サン＝ステファノ条約 ④ ベルリン条約

問2 下線(b)について述べた文として誤りを含むものを次の①～④より一つ選べ。

ヨ

- ① オスマン帝国内のギリシア正教徒保護を口実に、ロシアはオスマン帝国と開戦した。
- ② エジプトのムハンマド＝アリーは、シリアの領有を要求してオスマン帝国と戦った。
- ③ パン＝スラヴ主義を利用して、ドイツはバルカン半島への勢力拡大を図った。
- ④ ベルリン会議の結果、オーストリアはボスニア・ヘルツェゴヴィナの統治権を得、バルカン進出のきっかけをつくった。

問3 (c)に適する語を次の①～④より一つ選べ。 ラ

- ① レザー＝ハーン ② ムスタファ＝ケマル
- ③ イブン＝サウード ④ ミドハト＝パシャ

問4 下線(d)について述べた文として誤りを含むものを次の①～④より一つ選べ。

リ

- ① オランダはブール人に対して南アフリカ戦争を起こした。
- ② ファショダで、イギリスとフランスが衝突する事件が起きた。
- ③ ドイツはフランスのモロッコ支配に対してモロッコ事件を起こした。
- ④ イタリアはエチオピアに侵入したが、エチオピア軍に敗れて後退した。

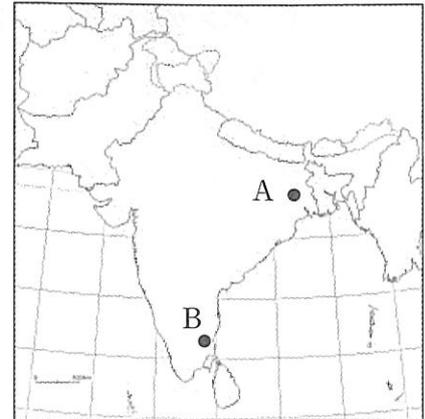
問5 下線(e)について述べた文として誤りを含むものを次の①～④より一つ選べ。

ル

- ① ティムールの子孫とされるバーブルが建国した。
- ② アクバル帝は新たにデリーに都を定め中央集権化をはかった。
- ③ アウラングゼーブ帝はジズヤ(人頭税)を復活させた。
- ④ シャー＝ジャハーン帝は、タージ＝マハルを建設した。

問6 下線(f)に関連して、1757年、イギリス東インド会社の傭兵軍が、フランスとベンガル太守の連合軍を破り、イギリス領インドの基礎を築いた戦いの名称と、その戦いが行われた地図中の位置の組み合わせとして正しいものを次の①～④より一つ選べ。 レ

	戦いの名称	地図上の記号
①	プラッシーの戦い	A
②	プラッシーの戦い	B
③	マイソール戦争	A
④	マイソール戦争	B



問7 下線(g)に関連して、下の史料はシパーヒーの反乱勃発の翌年(1858年)に制定されたインド統治法の一部である。その史料に登場する女王陛下とは誰のことか。また1877年に、この女王がインド皇帝となるが、その当時のイギリス首相は誰か。女王と首相の組み合わせとして正しいものを次の①～④より一つ選べ。 □

第1条 現在東インド会社の占有になっている、ないしはその統治下にある領土の統治権、および統治に関し女王陛下の信任のもとに同会社にあたえられ行使されてきたすべての権力は…女王陛下に授けられる。

第56条 東インド会社の陸海軍兵力は女王陛下のインド陸海軍とみなされ、同会社のもとにあると同様の奉仕義務を陛下に負う。

(松村尅 訳「新訳 世界史史料・名言集」(山川出版社))

	女王陛下	首相
①	エリザベス1世	ディズレーリ
②	エリザベス1世	グラッドストーン
③	ヴィクトリア女王	ディズレーリ
④	ヴィクトリア女王	グラッドストーン

問8 下線(h)について述べた文として正しいものを次の①～④より一つ選べ。

ワ

- ① ベンガル分割令に対して、英貨排斥・民族教育などの4綱領を決議し反対運動を展開した。
- ② 全インド＝ムスリム連盟を組織した。
- ③ 非暴力・不服従運動として「塩の行進」を指導した。
- ④ 国民会議派左派のリーダーとしてラホール大会で議長を務め完全独立(プールナ＝スワラージ)を決議した。

問9 下線(i)について述べた文として波線部分が誤っているものを次の①～④より一つ選べ。

ン

- ① イギリスはビルマをインド帝国に併合した。
- ② イギリスは、ペナン・マラッカ・シンガポールからなる海峡植民地を成立させた。
- ③ フランスは清仏戦争に勝利し、天津条約でベトナムの保護権を清朝に認めさせた。
- ④ カンボジアはイギリスとフランスの勢力緩衝地帯に当たっていたこともあり、独立を維持した。

問10 下線(j)に関連して、19世紀後半から20世紀初めにかけて東南アジアで見られた抵抗運動について述べた文として誤りを含むものを次の①～④より一つ選べ。

ガ

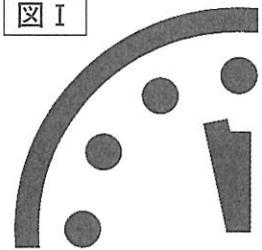
- ① ベトナムでは留学生を日本に送るドンズー運動が起こった。
- ② インドネシアでは民衆によってイスラーム同盟(サレカット＝イスラーム)が結成された。
- ③ ラオスでは、タバコの利権をイギリス人に与えたことに対してタバコ＝ボイコット運動が展開された。
- ④ フィリピンではホセ＝リサルがスペインからの独立を求める運動を展開した。

V 「世界終末時計」について述べた次の文章を読んで以下の設問に答えよ。

(解答記号 ～)

「世界終末時計」と呼ばれる時計(図 I)がある。これは、人類の絶滅を「午前0時」と設定し、その終末までの残り時間を示す時計で、もともとは核戦争の脅威について警告する目的で、アメリカ合衆国の雑誌『原子力科学者会報』の表紙絵として使用されたものである。最近は、核戦争の脅威だけでなく気候変動による環境破壊など人類にとっての様々な脅威も指標とされている。

図 I



この時計が初めて発表されたのは、^(a)東西冷戦期の1947年で、人類滅亡まで「残り7分」とされた。その後、米ソが相次いで核実験を行い軍拡競争が続いたことから、1953年には「残り2分」となった。その後、^(b)核軍縮を目指す国際条約の発効などを受けて針が戻された時期もあったが、新たな米ソの対立により、1984年には「残り3分」となった。

最も針が戻ったのは、^(c)ソ連の崩壊により東西冷戦が終結した1991年の「残り17分」であった。しかし、それ以降は短くなる一方で、北朝鮮の核開発などの核の脅威に加え、気候変動や新型コロナウイルスの感染拡大、ロシアによるウクライナ侵攻などを受けて、2023年1月24日、最短の「残り1分30秒」と発表された。2023年10月から始まった^(d)パレスチナにおけるイスラエルとハマスの戦闘により残り時間はさらに短くなるのが危惧されたが、2024年1月23日に発表された人類滅亡までの残り時間は2年連続で残り「1分30秒」であった。

問1 下線(a)について述べた文として誤りを含むものを次の①～④より一つ選べ。

- ① アメリカ合衆国大統領ケネディはギリシアやトルコに軍事援助を行い、ソ連の拡大を封じ込める政策を宣言した。
- ② アメリカ合衆国国務長官マーシャルは戦後のヨーロッパ経済復興援助計画を発表した。
- ③ ソ連と東欧諸国は、社会主義圏の結束を固めるため、コミンフォルム(共産党情報局)を結成した。
- ④ ユーゴスラヴィアはティトーの下で、ソ連に対して自主的な姿勢を取り、非同盟政策を展開した。

問2 下線(b)に関連して、核軍縮の動きについて述べたA・Bの文の正誤の組み合わせとして正しいものを次の①～④より一つ選べ。

A バートランド＝ラッセルとアインシュタインの提唱により核兵器の脅威や科学者の責任を議題とするパグウォッシュ会議が開催された。

B アメリカ合衆国・イギリス・ソ連・フランス・中華人民共和国の5か国は地下実験を除く核実験を禁止する部分的核実験禁止条約に調印した。

① A－正 B－正

② A－正 B－誤

③ A－誤 B－正

④ A－誤 B－誤

問3 下線(c)に関連して、東西冷戦終結前後(1989～1994)の世界各地の出来事について述べた文として**適当でないもの**を次の①～④より一つ選べ。

① ドイツでは、ベルリンの壁が開放され、翌年、統一ドイツを実現した。

② アメリカ合衆国では、キング牧師らの呼びかけで黒人差別の撤廃を求めるワシントン大行進が行われた。

③ 南アフリカ政府は、アパルトヘイト諸法を全廃した。

④ イラクのサダム＝フセインはクウェートに侵攻したが、アメリカ合衆国を中心とする多国籍軍の攻撃により撤退した。

問4 下線(d)に関連して、中東問題や中東戦争について述べた文として正しいものを次の①～④より一つ選べ。

① エジプトのスエズ運河国有化の宣言により第1次中東戦争が起こった。

② イギリスは、フセイン・マクマホン協定でパレスチナにおけるユダヤ人国家の建設を保障した。

③ 第3次中東戦争の終結にともないパレスチナ暫定自治協定が成立した。

④ 第4次中東戦争の際に、アラブ産油国は石油戦略を発動した。